_[1]	第6号	1+) #		限と	ち	お	昭和324	年3月10日発行	
および平の児童の預学で、東谷小学校の天下島でありました。	第一着手として、きたる 第一着手として、きたる	~ ~	三十二年度時期会計	い原窓りたちれ、千多の見たりたちれ、千多の日提出された職家につかれました。	十一寺から市役近り遺場で和三十二年第一回栃尾	業	総工業	な教	昭和三十八年二月二十日第三種原便物都可
		三カ年にわたる		、町息のを駆き 水道布設事業起	紙米	起債をまって 王君一(億匹	て上水道を布	ち あ ※ 7 人	鄭便物認可(毎月十日殤行定備一部11円) 1
	な年の沢		、その内一般会計からの歳入合計三千七百二十万日、也資	日十万円となつてお。	ニチモニトロニトワリ、イカア、内訳は、昭和三十継続事業で総事業費一億四	事業を開始	時市議会	栃 尾 市 新潟県栃尾市 (電話750-26) 人口 の 動名 (2月末日現在 男 18,855) 女 19,959) 計 38,854, 世帯数 7,011	
が、三課共同がた二六番も	だ前と大差ありません。 しました。その他の課は、 うな転気室へそれぞれ移動 を移転、本館内も税務課が	、保健衛生課の三課の、従前どおり二階で、従前とおり二階である名割局の利	1.病尾中学校、三月一日、高名しておりましたが	会議室を借いていため、市職	市役所の分	ります。 ります。 ります。	「「「「「「「」」」」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	日、歳出では、工事費が三千 の二十万四千円、市債屋 の二十万四千円、市債 の二十万四千円、市債に の二十万 の二十二 の二十二 の二十二 の二十二 の二十二 の二十二 の二十二	- 一%が起債によるもので
□ 貸付金額は、一世帯五千 ここでもご相談に応じますから ここでもご相談に応じますから したったときは、いつこ	経験もおありのことと思いあつたら…といつたようなお金に困つたとき、千円ででもよいが現金がお金に困つたとき、千円でご存じのことと思います。	e e	です。 なるながけ早く増設する予定	おかけしておりますが、でであるため、非常な不便を	室を設置	提出されます。	中三十一年度追加更正予算 和三十一年度追加更正予算 の一部にす。 の一部には のの一部に のの一部に のの一部で のので のので のの一部で ののの一部で のので ののの ののの ののの ののの の の のの の の	三月十一日に	予算市議会は
し込んでください。	四月1日から、市内十九 青年学級生	月となつています。 「栃尾市公益質屋」	杤	尾市役所 (=		+	[]] (示 健 (红生課)		<u>د</u>
さい。	ださい。だんな	お寄せ下さい					產業課 ← 初れ		

3

	All Aller	C. C									「「「「「」」「「」」「「」」」								一名、こ是「弊資会こし」、「夏雪月(宇田) 折てきまし
「カゴ」	・布施栄助 四牛敷 (重谷) 号3840 【三等】勝沼隆	渡戸)新了二町(い句)	*	1	-	 ・ 者喬E久 [二等] 	は、北閣ジー中)	あれ」(下虎治(藩		-	\$	5	「二等」は(念		号40				
く有名し、花井竹ラコ	り降	じ・川上市右		吉(下塩)・中西三戓(泉) 松井輝吉(吹谷)・阿部惣	_	等】松平仙太郎(葎谷)		虎治(葎谷)・千野米作(酒井才吉(栗山沢)・多田	一等」土田岩吉(泉)・	古代品計会の音	3	(参加点数八十二点)	貝)やちこがね3417	3426 · 剣持忠雄 (一之)		之貝)やちこがね3457	号3468•三国栄一 (1)	「二之貝」 農林43一
		けてあっても、Eしく受け受けられます。また取り付	のがときた	りですが、近時その取り付らないことはご存じのとお	なけ	自転車やリヤカーに標識		リヤカー		あなたの自転車		飯浜昭一(下塩)・土田幸	225	一作(軽井沢)・千野仙	島田茂一郎(金沢)・茨木	渡戸)飯浜信吾(下塩)	(赤谷)・永橋利一(一	光明(入塩川)・陶山新助	・浅野達(一之貝)農林49一土田間平(入塩川)・阿部
	れてををするようこして下さい(さ)て標識について正しい手続い		-	村一規定されていますから、自おしせられることがあるように		識 らのものが発見された場合	の木言(ーの票載は?		r に 気 車		幸」さん。	-	円内右			之 (参加点数一一五点)		
2 17 U		(つ)を届け出で、 弁賞金三十円)は、明鬱が必要です)はその冒	場·	自一や、紛失したとき(紛失の)に「四、楞論がこれれたとき	買届を		したときは、標識は取り付	三、市内在住者間で売買	下さい。	受けて廃車の手続きをして	員から標識の取りはずしを	ししたときは、市役所の係	るとき、市外	なつた			_	ししわらず、必ず標識を受けな	(一之見)・杉野二竹(男)使用するとしないとにかか
「「おおえ」と、ナント	うに注意してください。流の人の迷惑にならない	1 この作業の際、みたりに	しをしていただき	二上二尺以下に除雪切りなら一路上の雪を巾カ尺以上、丸	子二月二十日まで――に	実施の時期	ŧ						そこで一日も早く車馬の交	お互に困ることであります	た	珍らしく大雪になりまし	雪道整備の実際で		いて来てつさい

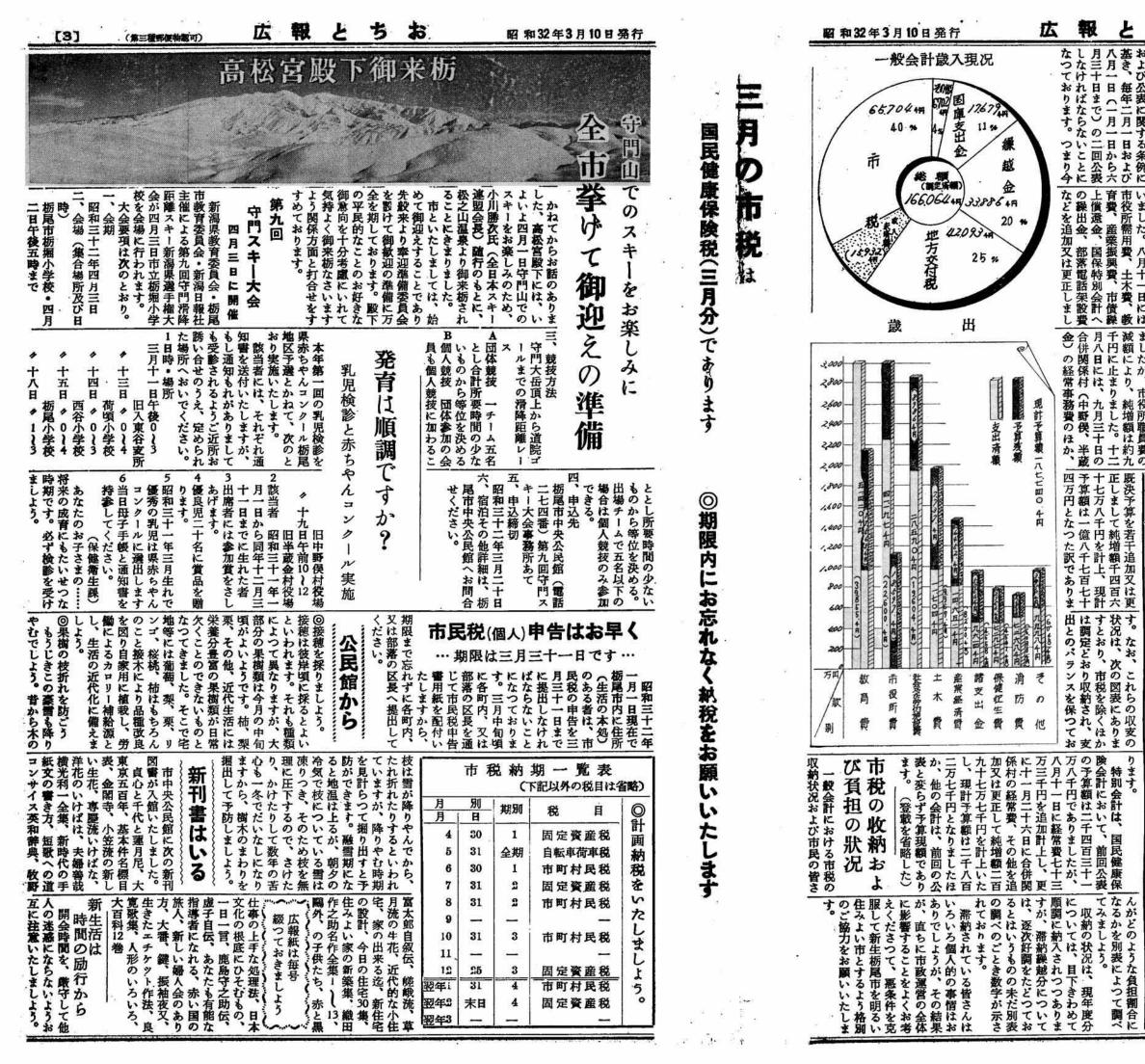
••

昭和32年3月10日発行

広	報	٤	ち	お	(第三種郵物便認可)	[4]
		続いて農事調演会に入り、「原富男(菅加)	。そのあと引き 貝)やちこが辞があつて式を 4048・西	報告があつてただちに北陸22号4石及事務所山井所長から 【一等】小林		反收四石一斗一升八八 ● 多收穫共進会の結果
藤市四郎へ	1新7日71	20·多田 第7号40	ね4029・	斗一(人面) 1 升面)	W 次 散 の の 「 病 物 の に つ い て 、 の の 「 病 病 病 あ つ い て 」 と お り の に つ い て 「 場 、 お 虫 あ う に う い た る い に う い た る い に う い た る つ い て 「 病 考 当 し た お し た お し た た つ い て 「 場 う が ち し た た の で 、 で い て し た お し た た の い て し た お し た た の い て し た お し た た の い て し た た の い て し た る つ い て し た る つ い て し た お し た た の い て し た た の つ い て し た る つ い て し た る つ い て し た る つ い て し た る つ い て し た る つ い て こ の つ い て こ の つ い て こ の つ い て の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ い て つ て の つ い て つ い て つ い つ て つ い つ て つ い つ て つ い つ て つ い つ て つ い つ て つ い つ い つ て つ い つ い つ て つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ い つ つ い つ い つ つ い つ い つ い つ つ い つ つ い つ つ つ い つ つ つ つ つ つ い つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	き八
貝) やちこがわ3417	3426 · 剑持忠雄(一之 • 上村慎里(栃堀)新7号	58,	農4十,	3494・佐藤戎夫(中)木正雄(半蔵金)越路早生下塩)新7号3500・鈴	52号3510•飯浜久六(三等]諸橋克己(半蔵金) 一(下塩)農林32号3600 一(下塩)農林32号3556•元十嵐文雄(菅畑) 一(下塩)農林32号3600 二(下塩)農林32号3600	ね3600。飯浜信吾(下 ・星弘(下来伝)やちこが 一之貝)農林43号3672 9・松平仙太郎(葎谷)新 (小貫)やちこがね381
¥∪-	島田茂一郎(金沢)・荻木一渡戸)飯浜信吾(下塩)・	(赤谷)・永橋利一(一之光明(入塩川)・陶山新助	土田間平(入塩川)・阿部谷)・酒井常平(栗山沢)(葎谷)・増井久治(山葵	て、協議離婚は離婚を 教判離婚の二つがあつ		御婚もやむを得ないこ 離婚もやむを得ないこ
上が苗代一等の土田	昭作一般について」講演会	参加点数一一五点)	• 杉野二作(栗 林作英(原)•	低ますの子か業	る婚方つ調、原た者か	、 配 す と す る し ま に 不 点 に 不 点 に 不 志 婦 の と す る し た る し た る し た る し た る し た る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る し た る る る し た る る し た る る し た る る し た る る る し う る る し う る る し た る る し う る る し う る る し う る る し う る る し る ろ る し る る し る る し る る し る る し る る る し る る し る る し る る し る る こ る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る る し る し る る し る る し る る し る る し る る し る る る る る る ろ る る し る る し る る る る る る ろ る る ろ ろ る る ろ ろ る る ろ ろ ろ る ろ ろ ろ る ろ ろ ろ る ろ ろ ろ る ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ
は、市役所の歴	5	ければならないことになつければならないことになつ	ロリヤカ	れしの戸業	い前の氏に、 「前の氏にてていた」で、 「前の氏にてていた。 「前の氏にてていた。 「前の氏にです。 「前の氏にです。 「前の氏にです。 「前の氏にです。 「前の氏に、 です。 して にていた。 です。 に、 です。 に、 です。 です。 でた。 です。 でた。 です。 でた。 です。 です。 でた。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です。 です	まのわないときは、くろう
涌みお		置	つて来て下さい。	(いまけのに、日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の日日の	こ、な審は二て届あれ 「「新を聞いた」でありた。 「「新を贈のの、はま」 「「新藤本提連夫協せ」」 「安定え、起署婦職ん」」	い者供は復知する人が見ていた。 したして、このでは、一般になっていた。 したいたいでした。 したいたいでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいたいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでしたいでは、のでいでは、 したいでは、のでした。 したいでは、のでした。 したいでは、のでしたいでは、 したいでは、のでしたいでは、 したいでは、のでいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいでは、 したいで、 したいでは、 したいで、 したいでは、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで、 したいで

8

.



4	ち	お		(第三)	種野便物	2可)		[2]	È.
整き、毎年二月一日および「市役所需用費、土木費、教」減額により「キ・て233~1日~1~3~4~1、1~1~3~2~1~1~1~1~1~1~2~2~2~2~2~2~2~2~2~2~	月十一日こは、ましたが、市道加更正を行 第二次発掘費月一回の計四 月二十六日に	。 たが、その後八月一回、九 円を計上いたしました財政事情が公表されまし 四十六万七千円でありまし して、純増額五百二万よび一時借入金の現况な 設会計の予算額は一億六千 などについて追加更正	状况、市有財産、市債 た六月末日現在における一 害復旧土木費、教育設況、市税の収納および 昨年八月一日に公表され 費、消防貯水槽設置費	ヨニトー 手をのをまります 予算の執行状況 時、動きを明らかにするため 予算の執行状況 月十	二月末までの栃尾市の財政 あたる公表という訳です。 円を計上いたしました。九昭和三十一年七月から十 回が昭和三十一年の後期に て純増額七百五十六万二千	收支および貧担の状況など	見」三十八三人	け 文 事青 ふ 長 こ る	昭和三十一年十二月末現在で
既決	1	健康保			計収				立千円
既決予算を若干追加又	歳	Л	1	予算 28.0	27	定済都 23.1	203	収入社 之 予算列	1.731
若干	歳	出		予算 28.02	27	出済額		1	6. 463
追加刀	-	市税		1	犬 况	調入	1		立千 円 収入
は	税	E AV	調定額	6月7	末累計 2.840	7月~1	<u>2月</u> 976 1	計	率% 93
更す。		民税 資産税	26.546		7.205		464 2	3.669	89 96
	電気	い、荷車税ガス税	3.811		1.411		400	3.811	100
なお、	消	対たばこ 費 税 度分計)	3.511 63	q	1. 157	2.	354 59	3.511 63	10C 100
これらの収支の	その(現年)(現年)(得新)	他の祝 度分計) 内分計) 計	48.249 17.455 65.704	1	4: 071 4. 071	5.	316 4 385	4.387 5.385 9.772	92 31 76
収支の		巿	税人		旦 状 38.845		調 世帯数	(7.0	79
	税		目	and works	定額	人口・当り		G	野当り
ります。	自電が	民資荷 第一方 第一方 で 行 の 年 初 の 年 約 の の 年 約 の の の の の の の の の の の の の	事税 税税 教務 税税 税税 税税 税税 税税 税税 税税 税税 税税 税		₹ 12. 735 26. 546 1. 583 3. 811 3. 511 63 48. 249 17. 455		Fi 328 683 41 98 90 1 1.242 449	4	Fi 1. 799 3. 750 224 538 496 9 6. 816 2. 466
	合		Ħ		65.704		1.691		9.282
ん	T	借_	入 先	別了	10. (CHOS)		- U.S.	14	金額に
んがどのような負担割	借フ	目的	現在	1 2000	借 大蔵	入 省	郵政	省	対する
よう	普通	土木僮	2.10	0.000 2.144	62	PI 2.144	2.10	0.000	11% 3
な負	災害 教	土木債 主木債	12.80		5.40	0.362	7.40		64
担割	施設	及び労働		0-000 0.000		0.000.0	2.000	0.000	18 4
合に	消防	施設費計	19.92	3.506	8.42	0.000 3.506	11:50	0.000	100